

# 令和4年度とよかわデジモニ第4回アンケート結果 「文化財保存活用に関するアンケート」

## 概要

### ■目的

市では、文化財等の資源をみんなで活用し、まちの魅力の向上や、より豊かなくらし等、地域の活性化へつなげるため、地域と行政が協働で取り組む「豊川市文化財保存活用地域計画」の策定を進めています。このアンケートは市政モニターの皆さんのお考えをお聞きし、計画策定の参考とするものです。

### ■アンケート対象者

令和4年度とよかわデジモニ モニター100人

### ■回答期間

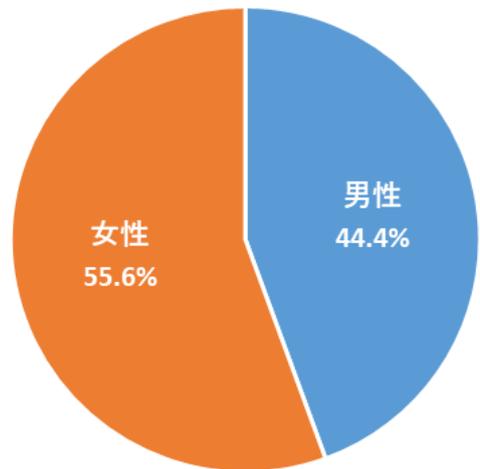
令和4年10月11日（火）から10月25日（火）まで

### ■回答者数（回答率）

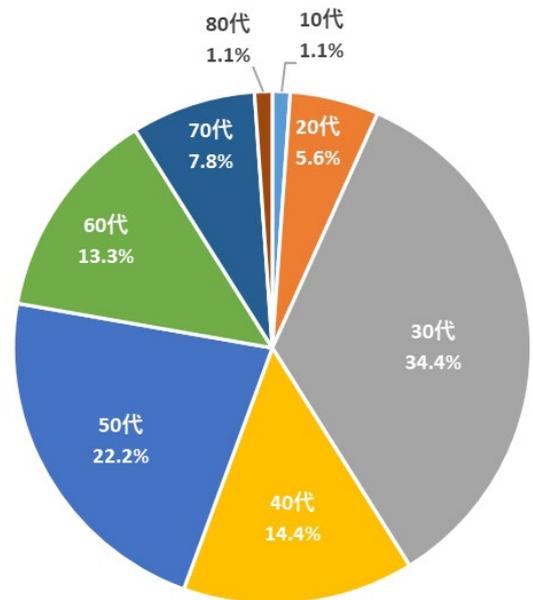
90人（90%）

### ■回答者の内訳

性別	回答数	%
男性	40	44.4%
女性	50	55.6%
合計	90	



年代	回答数	%
10代	1	1.1%
20代	5	5.6%
30代	31	34.4%
40代	13	14.4%
50代	20	22.2%
60代	12	13.3%
70代	7	7.8%
80代	1	1.1%
合計	90	



※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。このため、合計が100にならない場合があります。

## 担当課の総論

「豊川市に愛着、魅力を感じていますか」（問1）という質問に、「感じている」と「どちらかといえば感じている」をあわせて84.4%、「感じていない」と答えた人は0.0%で、「どちらかといえば感じていない」と答えた人もわずか3.3%であり、ほとんどの方が豊川市に愛着、魅力を感じています。

「豊川市内や身近にある文化財に関心がありますか」（問2）という質問に67.8%の人が関心をもっていると答えていました。また、多くの方は文化財から受けるイメージ（問3）を「地域の歴史を語るもの」（81.1%）、「未来へ伝えていくべきもの」（45.6%）、「魅力的なまちの形成や、観光・産業振興に重要なもの」（31.1%）と前向きに捉えられています。

「どのような展示・講座や歴史イベントに参加したことがありますか」（問4）という質問には圧倒的に「地域のまつり」への参加（53.3%）が多く、次いで「参加したことがない」（22.2%）となっています。参加の機会も地域のまつりへの参加者が多いことを考慮すれば、「どのような機会にイベント等に参加をされましたか」（問5）という質問に対し、「町内行事」として参加したと回答された人が多い（46.7%）ことも当然であると言えます。

「今後どのような展示・講座や歴史イベントに参加してみたいですか」（問6）では、「地域のまつり」（30.0%）が最も多かったですが、ほかには「ウォーキングイベント」（27.8%）・「文化財や歴史の展覧会」（23.3%）・「文化財巡り」（21.1%）・「スタンプラリー」（21.1%）が同程度の関心となっていました。

文化財に関する情報収集方法（問7）については、「広報とよかわ」（91.1%）が最も多く、「チラシ・ポスター」（27.8%）、「市のホームページ」（26.7%）と続くことから、市の広報媒体を活用することが有効であると考えられます。

「保存・活用の方向性について重要なことは何ですか」（問8）という質問では、「次世代への継承」（51.1%）、「市民がまちを誇りに思う郷土愛の育成」（41.1%）、「市外への知名度向上による観光振興」（38.9%）と続きますが、市外の人よりも市内の次世代の担う若い人たちや地域の人々への郷土愛の育成を重要と感じていることがわかりました。

文化財の保存・活用のために関われること（問9）としては、「イベント・祭りへの参加」（77.8%）と答えた人が最も多いにも関わらず、「祭礼や伝統技術の継承」（21.1%）はあまり高くないことから、自らが担い手となることには前向きではないと感じます。

豊川市の文化財の保存・活用についての取組について感じていること（問10）は「文化財を知るきっかけとなる事業が少ない」（50.0%）との回答が最も多く、「情報発信が十分でない」（46.7%）、「若者の興味を引き出すことが不足している」（32.2%）、「どこにあるかわからない」（28.9%）と続き、文化財を知らないことや若者に向けた情報発信の必要性を感じました。

自由意見では、文化財を知らないが知る機会を求めていることや子どもを含め地域の方がまず文化財を理解し、そこから市外の観光へと広げていくことを期待されている意見もありました。イベントとしては、知識を求めるものだけでなく、誰もが楽しめるようなスタンプラリーやウォーキングイベントなどの催しを通して、若い人たちの興味を引き出す提案も

あり、具体的に豊川稲荷の YORUMO-DE を評価する意見もありました。

これらの意見を参考に、文化財保存活用地域計画策定を進めていきます。

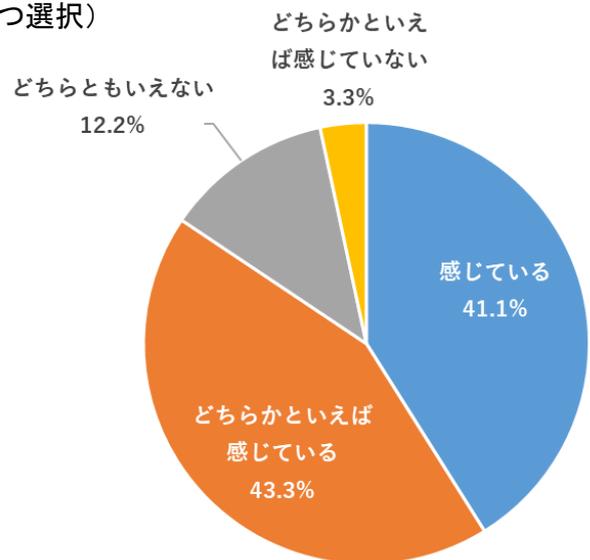
## アンケート集計結果

※比率はすべて百分率 (%) で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、合計が 100 にならない場合があります。

※その他・自由意見については、原則ご記入いただいた原文のまま記載をしていますが表記誤りなどについては訂正し、アンケート内容と関係ない意見については掲載しない場合があります。

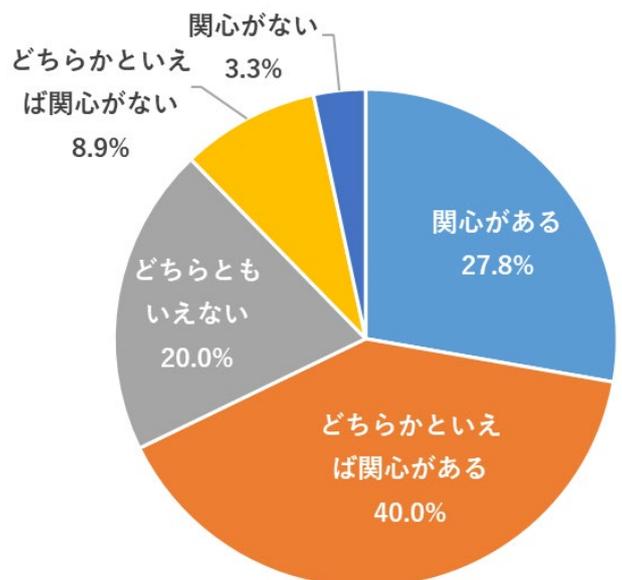
### 【1】あなたは、豊川市に愛着、魅力を感じていますか。(1つ選択)

項目	回答数	%
感じている	37	41.1%
どちらかといえば感じている	39	43.3%
どちらともいえない	11	12.2%
どちらかといえば感じていない	3	3.3%
感じていない	0	0.0%
合計	90	



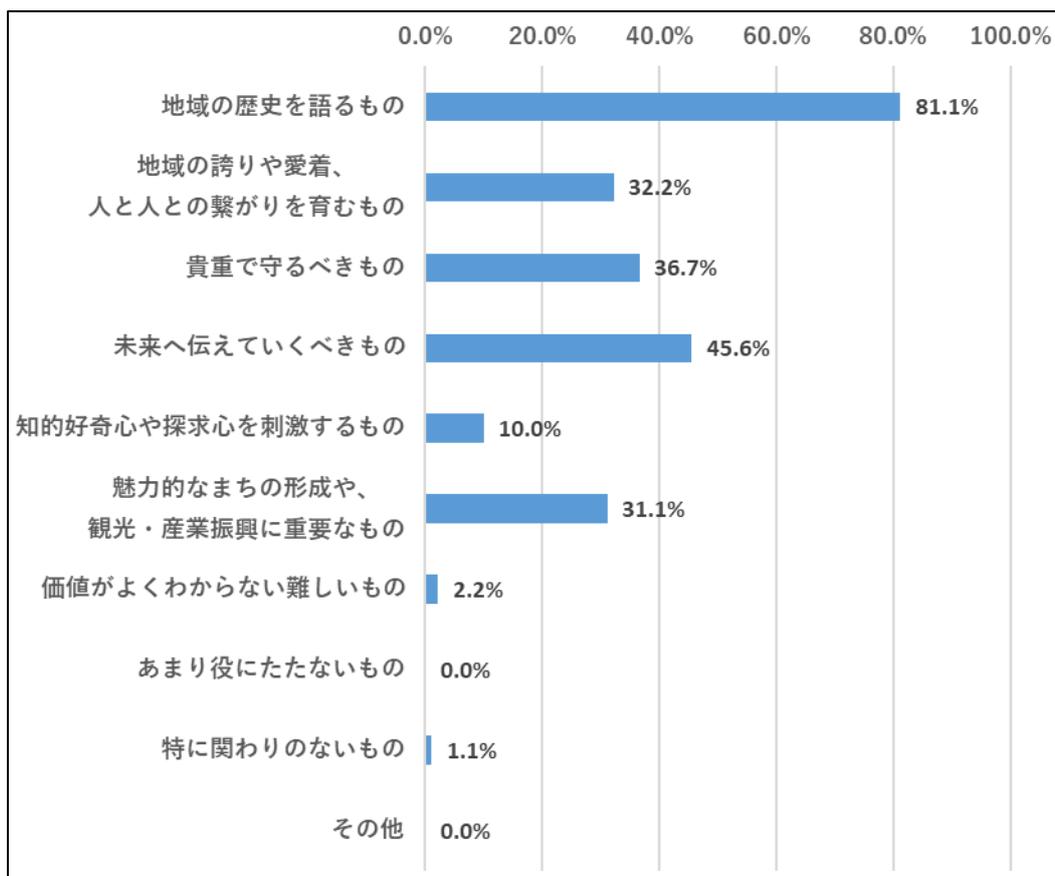
### 【2】あなたは、豊川市内や身近にある文化財に関心がありますか。(1つ選択)

項目	回答数	%
関心がある	25	27.8%
どちらかといえば関心がある	36	40.0%
どちらともいえない	18	20.0%
どちらかといえば関心がない	8	8.9%
関心がない	3	3.3%
合計	90	



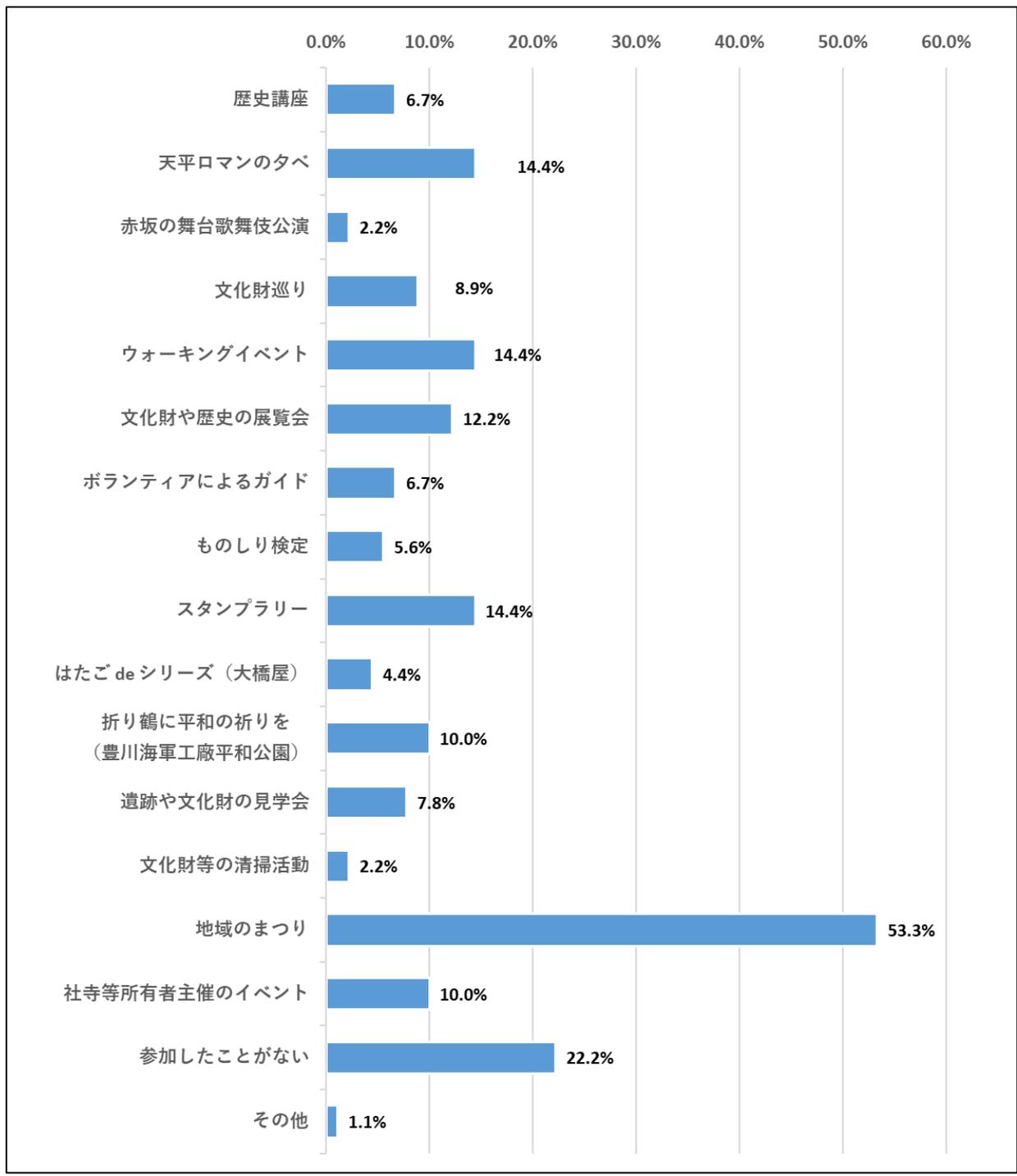
【3】あなたが、文化財から受けるイメージを教えてください。(3つまで回答可)

項目	回答数	%
地域の歴史を語るもの	73	81.1%
地域の誇りや愛着、人と人との繋がりを育むもの	29	32.2%
貴重で守るべきもの	33	36.7%
未来へ伝えていくべきもの	41	45.6%
知的好奇心や探求心を刺激するもの	9	10.0%
魅力的なまちの形成や、観光・産業振興に重要なもの	28	31.1%
価値がよくわからない難しいもの	2	2.2%
あまり役に立たないもの	0	0.0%
特に関わりのないもの	1	1.1%
その他	0	0.0%
合計	90	



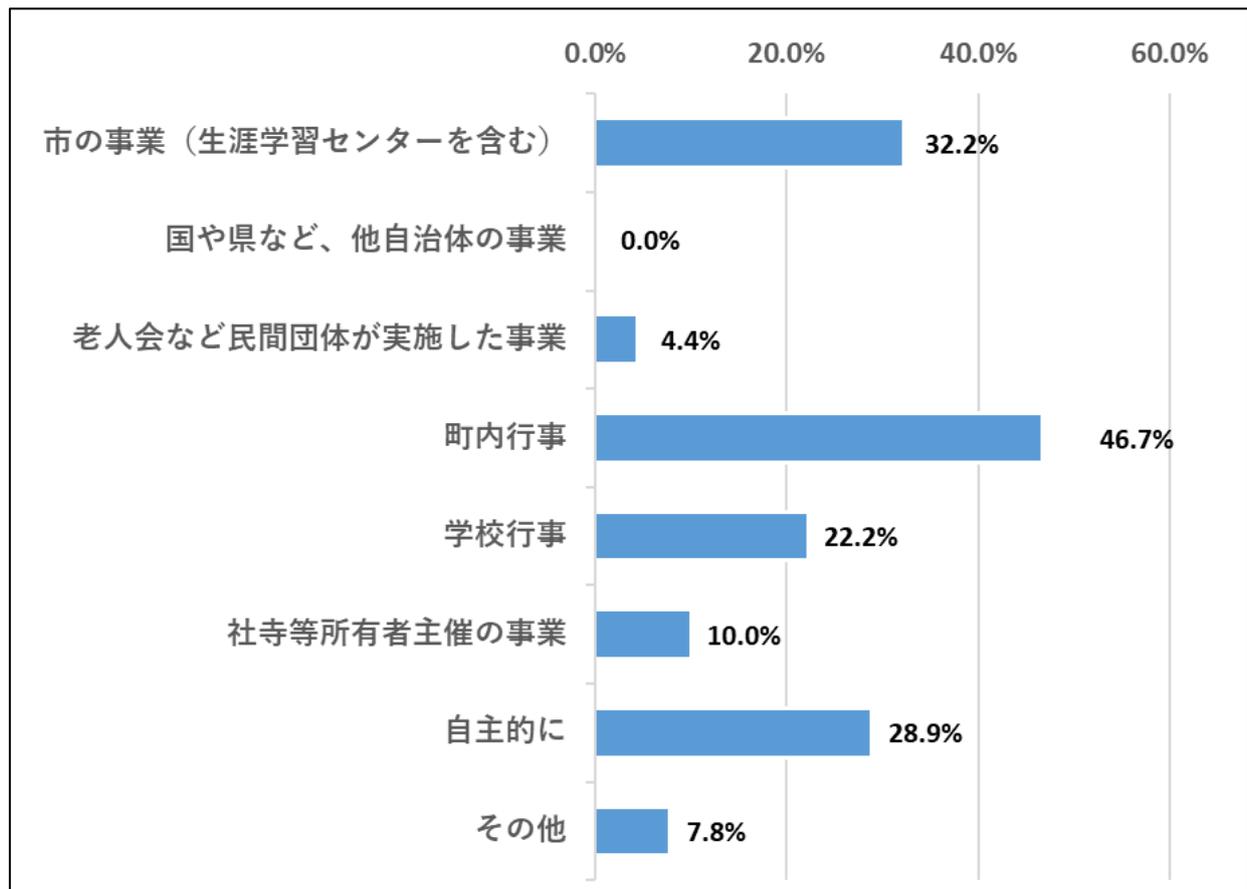
【4】どのような展示・講座や歴史イベントに参加したことがありますか。(複数回答可)

項目	回答数	%
歴史講座	6	6.7%
天平ロマンのタベ	13	14.4%
赤坂の舞台歌舞伎公演	2	2.2%
文化財巡り	8	8.9%
ウォーキングイベント	13	14.4%
文化財や歴史の展覧会	11	12.2%
ボランティアによるガイド	6	6.7%
ものしり検定	5	5.6%
スタンプラリー	13	14.4%
はたご de シリーズ(大橋屋)	4	4.4%
折り鶴に平和の祈りを (豊川海軍工廠平和公園)	9	10.0%
遺跡や文化財の見学会	7	7.8%
文化財等の清掃活動	2	2.2%
地域のまつり	48	53.3%
社寺等所有者主催のイベント	9	10.0%
参加したことがない	20	22.2%
その他 ・ウォークラリー	5	7.2%



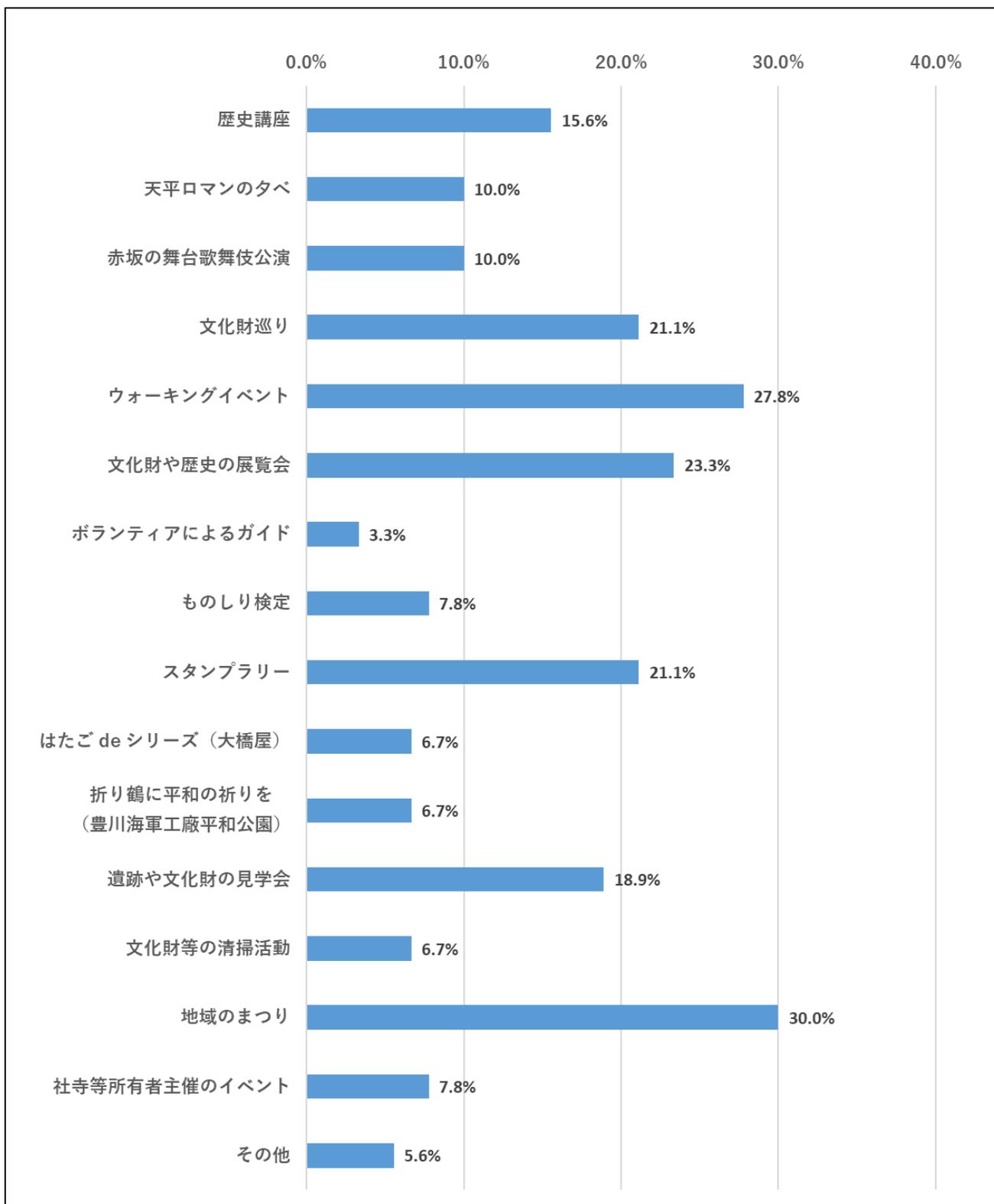
【5】どのような機会にイベント等に参加をされましたか。(複数回答可)

項目	回答数	%
市の事業(生涯学習センターを含む)	29	32.2%
国や県など、他自治体の事業	0	0.0%
老人会など民間団体が実施した事業	4	4.4%
町内行事	42	46.7%
学校行事	20	22.2%
社寺等所有者主催の事業	9	10.0%
自主的に	26	28.9%
その他 ・JA ひまわりのウォークラリー ・子供会 ・JR さわやかウォーキング ・近所での開催や、ふと行ってみようかな、という感じでの参加 ・参加したことがない(3件)	7	7.8%



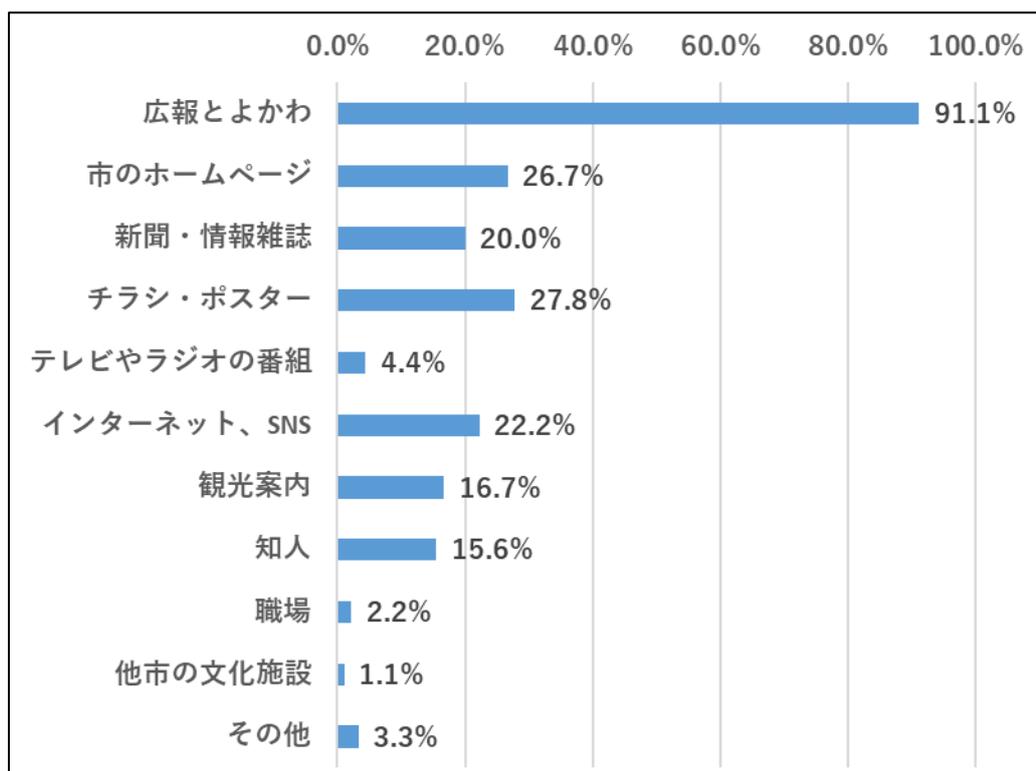
【6】今後どのような展示・講座や歴史イベントに参加してみたいですか。(3つまで回答可)

項目	回答数	%
歴史講座	14	15.6%
天平ロマンのタベ	9	10.0%
赤坂の舞台歌舞伎公演	9	10.0%
文化財巡り	19	21.1%
ウォーキングイベント	25	27.8%
文化財や歴史の展覧会	21	23.3%
ボランティアによるガイド	3	3.3%
ものしり検定	7	7.8%
スタンプラリー	19	21.1%
はたご de シリーズ(大橋屋)	6	6.7%
折り鶴に平和の祈りを (豊川海軍工廠平和公園)	6	6.7%
遺跡や文化財の見学会	17	18.9%
文化財等の清掃活動	6	6.7%
地域のまつり	27	30.0%
社寺等所有者主催のイベント	7	7.8%
その他 ・桜ヶ丘ミュージアムに行く予定がある時に ・キッチンカーなど ・参加したいと思わない(3件)	5	5.6%



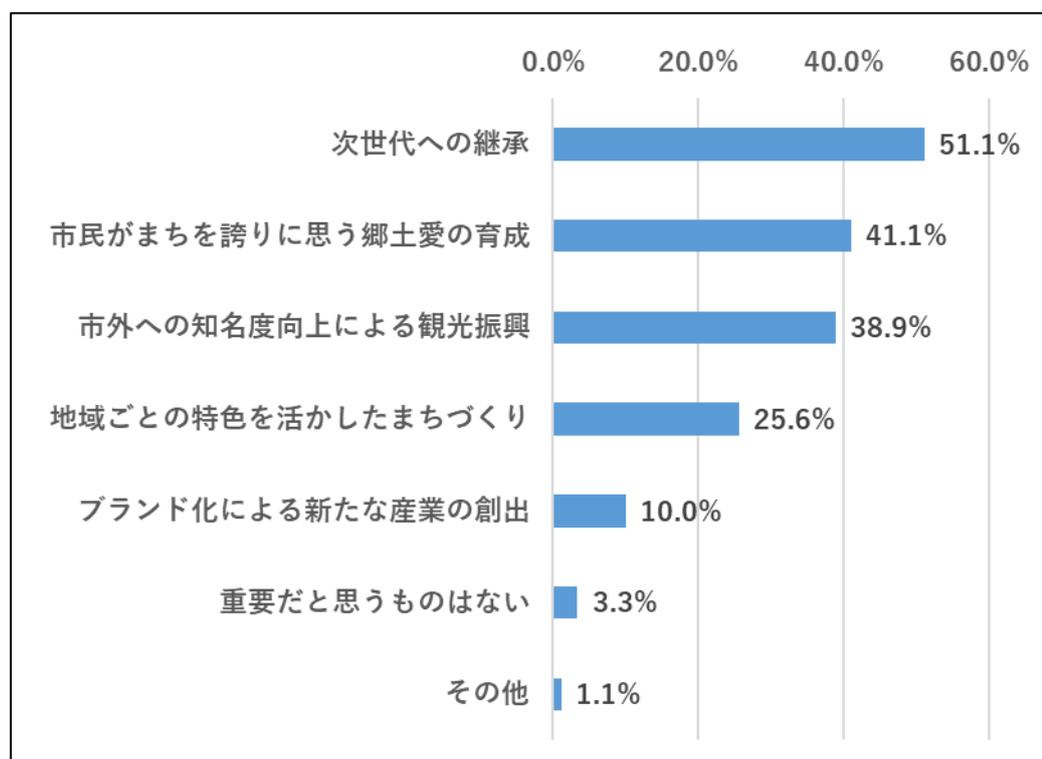
【7】あなたは、豊川市の文化財に関する情報をどこで知りますか。(複数回答可)

項目	回答数	%
広報とよかわ	82	91.1%
市のホームページ	24	26.7%
新聞・情報雑誌	18	20.0%
チラシ・ポスター	25	27.8%
テレビやラジオの番組	4	4.4%
インターネット、SNS	20	22.2%
観光案内	15	16.7%
知人	14	15.6%
職場	2	2.2%
他市の文化施設	1	1.1%
その他 ・町内回覧板 ・全く知らない ・文化財情報を探したいと思っていない	3	3.3%



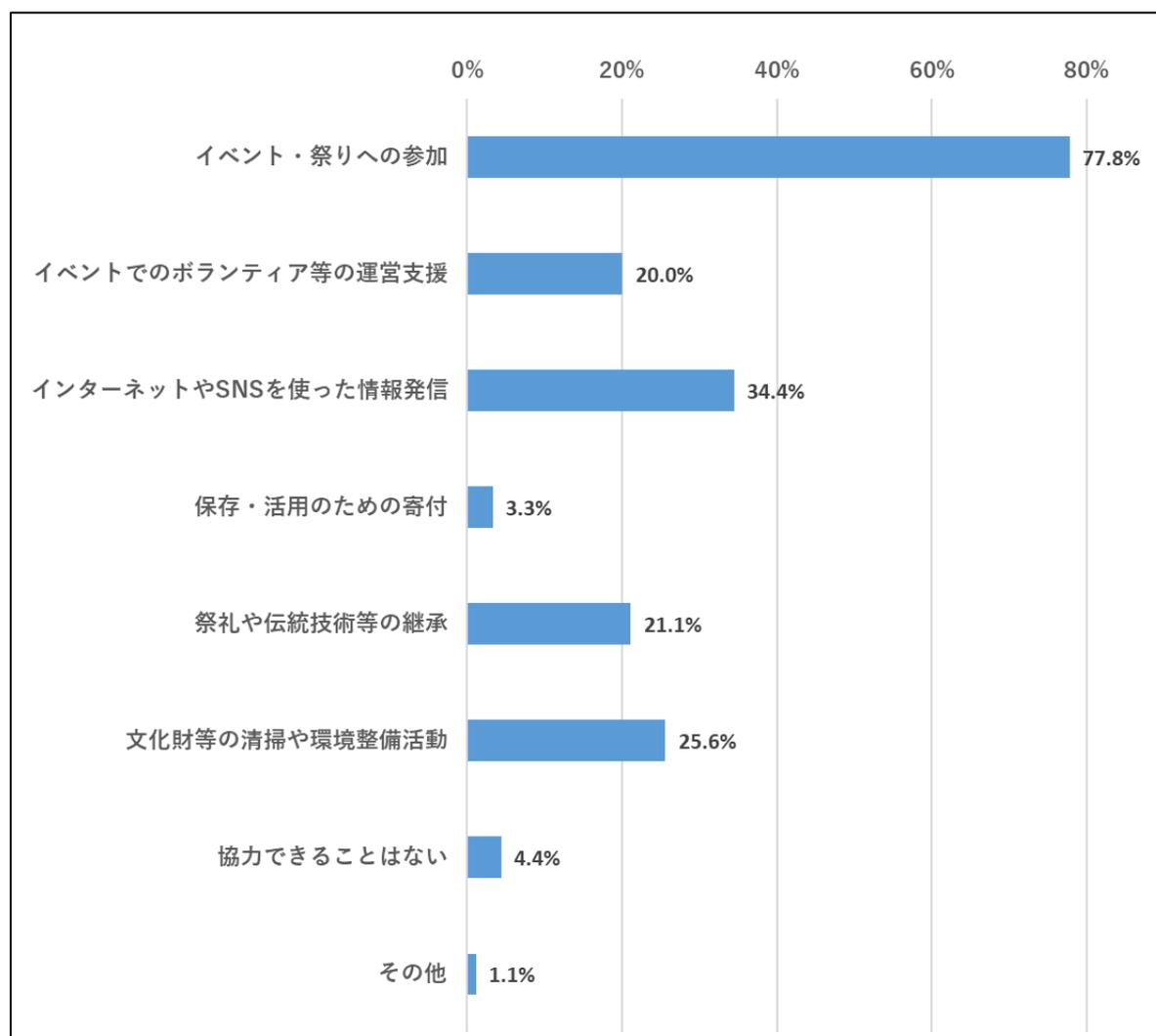
【8】豊川市の文化財の保存・活用の方向性について、重要だと思うものはなんですか。(2つまで回答可)

項目	回答数	%
次世代への継承	46	51.1%
市民がまちを誇りに思う郷土愛の育成	37	41.1%
市外への知名度向上による観光振興	35	38.9%
地域ごとの特色を活かしたまちづくり	23	25.6%
ブランド化による新たな産業の創出	9	10.0%
重要だと思うものはない	3	3.3%
その他 ・個々の市民を含めた方々がそれらに興味をしめすこと。	1	1.1%



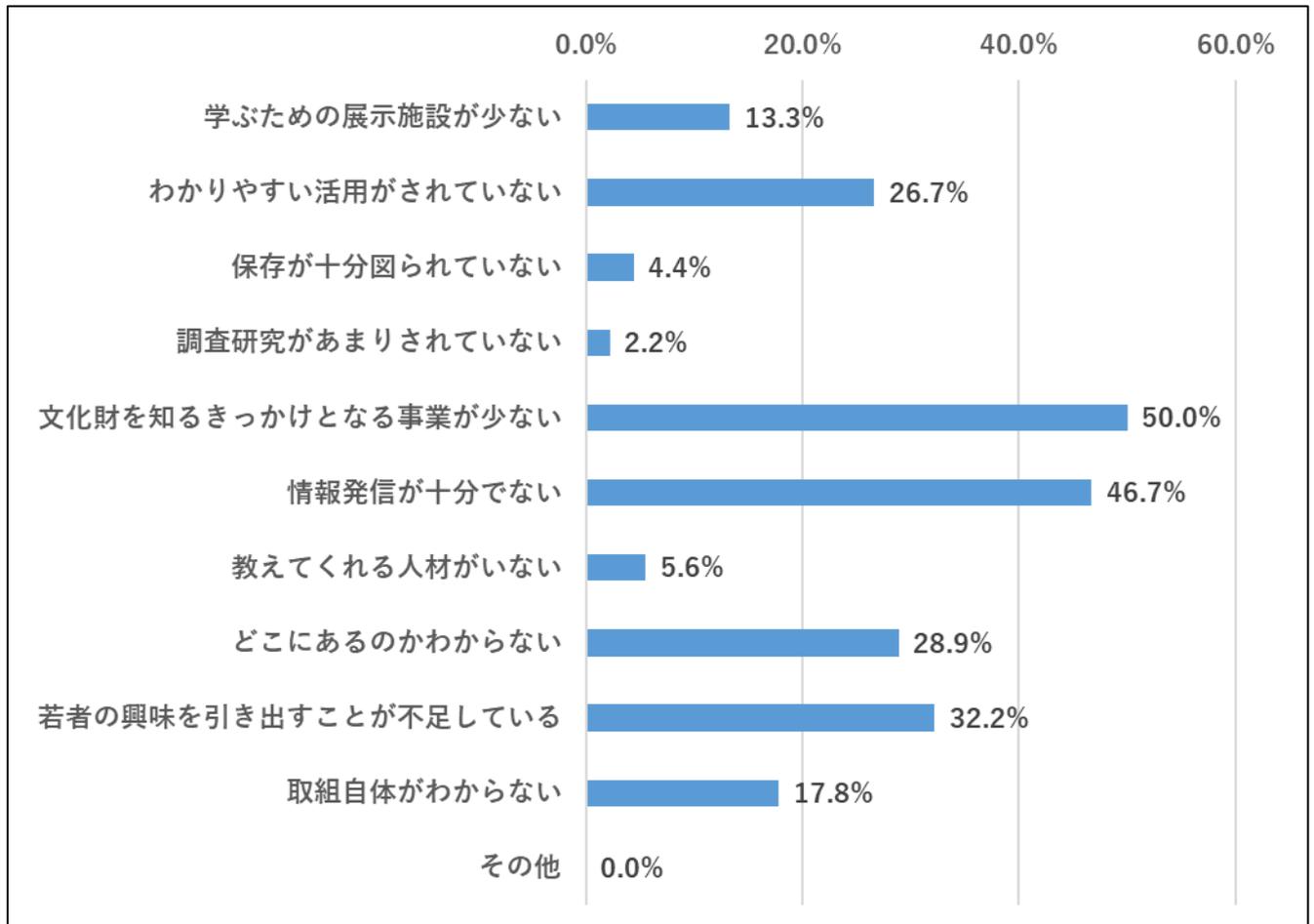
【9】文化財の保存・活用のために、どのような取組であれば、あなたは関わると思いますか。  
(3つまで回答可)

項目	回答数	%
イベント・祭りへの参加	70	77.8%
イベントでのボランティア等の運営支援	18	20.0%
インターネットや SNS を使った情報発信	31	34.4%
保存・活用のための寄付	3	3.3%
祭礼や伝統技術等の継承	19	21.1%
文化財等の清掃や環境整備活動	23	25.6%
協力できることはない	4	4.4%
その他 ・今まで関われなかった原因が事前に知らなかった、都合(日時)の2点が大きくそれらがクリアできれば。	1	1.1%



【10】豊川市の文化財の保存・活用についての取組について感じていることは何ですか。(3つまで回答可)

項目	回答数	%
学ぶための展示施設が少ない	12	13.3%
わかりやすい活用がされていない	24	26.7%
保存が十分図られていない	4	4.4%
調査研究があまりされていない	2	2.2%
文化財を知るきっかけとなる事業が少ない	45	50.0%
情報発信が十分でない	42	46.7%
教えてくれる人材がいない	5	5.6%
どこにあるのかわからない	26	28.9%
若者の興味を引き出すことが不足している	29	32.2%
取組自体がわからない	16	17.8%
その他	0	0.0%



【11】本市の文化財を活用したまちづくりに関する提案、期待、要望等があれば、ご自由にお書きください。

最近夫婦で始めたのが、JR主催のさわやかウォーキングのイベントです。イベント開催の土日になると、出発地は各方面から大勢の老若男女が集まってきます。せっかく豊川にも文化財がたくさんあり、見どころがあるなら、他の地域の方々にもその良さを知っていただきたく思います。豊川在住である自分たちも、豊川の文化財がどこにどれだけあるかわかりません。ですので、このような機会を設け、他の地域の方だけでなく、市内の人も参加できるウォークラリー的なイベントがあると改めて豊川の良さを感じられると思います。国府のイチに合わせて開催したり、最近流行ウォーキングと絡めたりしても楽しめそうです。また、地元の高校生などとコラボして、文化財や美味しいものを巡るルートがあっても楽しいと思います。健康志向が高まっている昨今ですので、文化財とウォーキングなど、気軽に参加できるイベントがあると、受け入れ側やボランティアも含めて、関われる人も多く持てるのではないかと思います。

保存・活用に関しては所有者や豊川市だけでなく、地域住民や市民団体等が協働して取り組むことが必要だと思われます。

維持・管理にかかる費用についても検討する必要がある。

文化財を利用し、市民の関心度を向上させ、観光につなげることが必要である。

情報発信の仕方にもまだまだ改善の余地があると思います。

文化財を観光資源としている先進的な地域の手法に学び、取入れ、計画、実行していくことも必要だと思います。

市民が豊川市を誇りに思い、それぞれが行動に起こし地域の活性化ができるのが理想的です。

また次世代につなげていけるように、身近なところで子供たちと文化財について話し合ってみようと思います。

私は、豊川市の文化財について勉強不足で知識がありませんが私なりに回答した。

豊川市の文化財関連の本に(「豊川市の歴史散歩」平成25年発行)があり、私の知識習得用としては十分である。価格も¥500円で非常にお値打ちである。此の情報を観光に活用しないのは勿体ない。公共交通機関(駅)等に案内看板を建て1日で観光出来るルート案内板設置(参考:JR関ヶ原駅前に看板の見本が存在します)とそれに関連するイベントを定期的に継続開催する事で豊川市の観光客人口を増やせないでしょうか。魅力ある施設、場所にすればリピーターも多くなると思います。

その案内看板の建て方ですが現地に人が立った方向と案内看板の絵の方向が逆であったり少しズレていたり観にくい場合も多々あります。現地に慣れない人が観るものですので其のあたりの気配りも重要だと思います。

他の市の話ですか「文化財ボランティア会員(数十人・私も会員として所属)」を組織してイベントにはその会員の協力も得て大々的に行われていて活気があります。これには市担当職員の努力も大変なものと思いますが、豊川市もある程度の知識レベルの一般市民を巻き込んだ活動は必要と思う。

歴史を知って豊川を愛する。

文化財に対してあまり魅力を感じない、というかどういものかよく分からない。豊川市に文化財がどれだけあるのかも知らない。

何がすごいのか、大切に守る理由とかが分かりやすいと良いな。とくに興味が持てないため自分で調べようとは思わないので、お祭りのイベントとかでアピールしてもらえたら自然と知るきっかけになるのかなと思う。

世代問わず豊川市民が興味や愛着を持たないと観光事業にはつながらないと思うので、まずは豊川市民が文化財へ関わる機会が増えていくといいと思います。

健康寿命がのびる中、高齢者の知識や知恵を、ボランティアとして活用してはどうか。文化財や周辺の清掃整備など

概略を記した冊子(薄いもので可)を地区市民館等で誰でも見やすく、または興味ある方が手に入れるよう受付等に置いたらどうかと思います。

町内の活動や行事に参加すると、知り合いも増えるし、代々つたわる豊川の伝統を身近に感じることができる。

提案できることはありませんが、豊川の住みやすさには感謝しています。ありがとうございます。

広報などで楽しくわかりやすいイベント企画を期待しています。交通アクセスも行きやすいようにしてほしいです。

近くに電話装荷線輪用櫓が在りますが今までどういう建物か知りませんでした。このアンケートで調べてわかりました。

これから勉強する機会や時間が取れるようなら少し考えてみます。

稲荷のヨルモウデはすごいいいことだと思います。こういうのが増えれば活気がでると思います。

このコロナ禍で イベントの中止が多く 人が集まることに対しても 抵抗がある。反面 コロナのおかげで普及したこともある。リモートがその一つである。文化財をリモートを使って うまくアピールし、リモートイベントをしてみても 良いでしょう。

文化財は、一度訪ねたら終わりではなく、何度も行きたくなるようにできたらいいと考える。屋台の集まりとか、子供向けのイベントとか。

結婚して豊川に移住しましたが、豊川の文化については全くわかりません。家の近くに三河国分寺がありますが、家の説明で三河国分寺の近くと言っても豊川市の人でも伝わりません。砥鹿神社や豊川稲荷は有名なのでお参りにもいきますが、それ以外にはどんな文化財があるのか全くわかりません。なので、まずはどんな文化財があるのか、市民が知る機会をもっと提供する必要があるのではないのでしょうか？若者向けにイベントを開催して SNS で発信するのも良いと思います。

【9】文化財の保存・活用の取組として、文化財等の清掃や環境整備活動 に関心があります。清掃であれば、だれでも出来る取り組みであり、そこから、文化財を身近に感じる事やきっかけにもなるかと思えます。

お疲れ様です、今後ともよろしく願いいたします。

以上

小学生にも大いに関心がある文化財の活用、広報、啓蒙が肝要。  
そもそも文化財とはどういうものかなど、入門から学んで、初級、中級と進んでいくと関心や興味がぐんと増すと思います。貴重な文化財が豊川市内にたくさんあることで、現地に行ったり、学芸員などの説明を聞いたり、触れたり、インスタグラムで発信したりなど、豊川市民だけでなく、愛知県民、全国にもどしどし情報発信してほしい。豊川の歴史や文化を学ぶ貴重な体験になると思います。

テレビ等の情報発信を活用してアピールすると良いと思う。

今までは新型コロナの関係で、イベント等が開催できず市としても大変だったと推察します。四季折々のモデルコースを作成し、併せてお開帳をしてもらおう。広報の片隅に入場料の割引券おみくじ引換券や門前町のお店のお試し券などがあれば、楽しめそうです。

小中学高では学ぶ機会がありますが大人になるにつれ減ってくと思います。未来への継承のために若者にどう伝えてくか。

豊川稲荷周辺に新しくオープンしたお店もあり、お稲荷さん、稲荷公園などでも出店イベントがあります。若い世代が盛り上げてくれるなか、その際に案内ブースなどで興味を持つきっかけとなるといいなと思います。

いまはコロナ禍で町内の祭りイベントは中止。

わたしにとって文化財は豊川稲荷だと思っています。豊川稲荷を中心にした、まちづくりを活性化してほしいです。

例えば黒壁スクエアのように。そこは滋賀県長浜市旧市街にある、伝統的建造物群を生かした観光スポットです。

若い世代の方が文化財に対してどれだけ興味を持てるのか？

現段階での文化財は活かしているのか？

地元高齢者の方と若い世代が交流出来ていないので、いなりん、イナリソ、ここちゃんを活躍して SNS での発信をもっとして欲しいです。

キャラクターは申請してお借りできるのでしょうか？

地域、学校行事を有効活用すべきだと考えます。

清掃活動などを活発に行い、小さいうちから親しみを持つ機会があればいいのでは？

ただ清掃活動だけだと参加者が少ないと思うので、子供の喜びそうなイベントや地元企業さんの物を活動後に配るなどおまけつきにするなどの工夫は必要かと思います。

豊川稲荷の YORUMO-DE は良い取り組みだと思う。

難しいイメージがあるので、それを払拭する様な、親しみやすいアピールをしていく事で、多くの市民がまず知る事ができ、そこから興味を持つ事に繋がると思います。

市民が集う時に、文化財を使えたら良いと思いました。例えば、お寺の中で、大人の学び直し勉強会、小中学生の宿題、日本語教室など。役に立ちたい人、教えてもらいたい人、助け合いたい人がうまく集まる場所となれば、文化財を活用できると思いました。

市民が、楽しめるイベントと一緒に、文化財を知る機会を作れば、楽しく学べて、良いのではないかと思う。

地元ではないので地域のことはあまり知らず…

ですが豊川が大好きで地元の子に豊川のお祭りやイベントなどまたは豊川駅前にある観光案内に出向きパンフレットなどもらって情報収集などしています！

もっと目につく形があれば参加するきっかけになると思います！！

あまり関係なくてすみません。昨年12月のネオフェニックスの市民解放デーでも沢山資料がもらえて東三河、豊川のことが知れて嬉しかったです！！

分かりやすく子供向けに要約された本、ポスターなどなら子供と一緒に読もうかなと思います。

インスタなどを利用して、若者世代の関心をひいて欲しい。若者世代に豊川に定着して、またはUターンして住んでもらえる様な活動を希望。イベントの活性化。

そこまで知名度のない豊川の文化財。そこにお金をかけて維持する意味は？その文化財によって本当に地域の活性化に繋がっているのか？

豊川稲荷くらい有名であれば、存在価値がありますが、それ以外は税金をかけて維持していくのに意味があるとは思えないです。(財源に対するリターンが少ない。)

どのような文化財があるのか、理解出来ていない状況です。広報等で学ぶ機会が欲しいです。地域で清掃活動等のボランティアかいさいし、文化財の理解を深めたら如何でしょうか？

豊川いなり、海軍工廠くらいしか思いつかない。他県からしても同じ。他県のひとを案内しようにもその2つ程度しか興味がでない。

文化財と言われても正直全くピンとこない。「豊川稲荷のこと…？」という状態。そのような状態だから、発信しよう、清掃しようというのピンとこない。一般的に文化財が貴重なものという感覚はあるし、それが自分とは遠い話、関係ない話という感じがしている。

学校行事として、地元の街探検を増やす。

豊川市には非常に多くのそして重要な文化財が多い。やはり本宮山から鳳来寺山へと繋がる山脈、国分寺尼寺三明寺といったいにしえに思いを寄せるものから豊川稲荷といったような全国区の文化財どれも素晴らしい。大学などによる学術研究も必要なものではその際には小中学生にも参加を呼び掛けるなど若者を巻き込むような行事を開催し募りみなさんの関心を少しでも持ってもらえる行事等の企画開催が望まれる。

もっと情報発信してほしいです。

学区内にある文化財は子供が学校の授業で行き、どんなものなのか親も知る事ができましたが他の地域のものは良くわかりません。どこにどのような文化財があるかは調べればわかりませんが、まず駐車場があるかどうかわからないところには行こうと思わないので駐車場の案内があると助かります。

【10】がすべてだと思う。

広報やsnsで情報発信していただけると興味が湧きます。

文化財に関するイベントには数回参加しています。諏訪町のスタンプラリーは子供と楽しみました。前に赤坂のイベントに行った時、スタッフさんが知り合い？身内？臍膺な対応(順番抜かしや賞品を多く渡す)をしていて呆れたことあります。文化財を紹介したいイベントだと、見ている人も不快になり興味を失うので、スタッフも自覚して参加してほしいなと思いました。別に参加した祭りや展覧会ではとても勉強になりましたので、小規模なものでも、開催を定期的にしてくれた方が行きやすいと思います。

個人的に八幡町の尼寺跡地が好きです。そこにかつて建物があり人が暮らしていた事実に想いを馳せながら散歩すると、心が晴れます。

豊川市には、文化・歴史・戦争の爪痕を語れる場所がたくさんあると思います。それらの場所に、肩肘張らず“いかにも感”なく訪れられ、かつ自然に歴史や当時の背景が知りたくなるような、決して押し付けでない、さりげない演出、センスを感じるプロデュースを切に願います。地元の人にはもちろん、新しくイオンもでき、豊川市を訪れる他市他県の方にもアピールできるような、ほっこり、しみじみ、感慨深い文化財との共栄を目指していただけると豊川市民としても嬉しいです。

抽象的ですみません。

広報紙に連載で文化財に関する歴史、情報等をのせて興味を持ってもらう。